

発行日: 2016/08/01

更新日: 2024/02/07

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: ホシユール フラット 3分消

製品種類:

硝化綿塗料艶消

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 木工家具補修用上塗

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 大松産業株式会社

住所: 東京都千代田区神田美倉町1番地

担当部署: 営業部

電話番号: 03-3252-0571

FAX: 03-3252-0570

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 1

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2

発がん性: 区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

極めて引火性の高い液体及び蒸気

強い眼刺激

発がんのおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

- 容器を密閉しておくこと。
- 容器を接地しアースをとること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する措置を講ずること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 保護手袋及び保護面を着用すること。
- 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。

応急措置

- 火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。
- 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

貯蔵

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

- 非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

想定される非常事態の概要

- 高圧の引火性ガスが入っている。加熱・衝撃等により破裂する危険性がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :

混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化管法 管理番号
メチルシクロヘキサン	1 - 5	108-87-2	-
イソプロピルアルコール	0.1 - 1	67-63-0	-
酢酸エチル	15 - 20	141-78-6	-
酢酸ブチル	5 - 10	123-86-4	-
プロピレングリコールメチルエーテルアセテート	5 - 10	108-65-6	-
メチルイソブチルケトン	1 - 5	108-10-1	管理番号737
3メチル3メトキシブタノール	1 - 5	56539-66-3	-
ジメチルエーテル	60 - 65	115-10-6	-
ニトロセルロース	1 - 5	9004-70-0	-

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

メチルシクロヘキサン, 酢酸エチル, 酢酸ブチル, メチルイソブチルケトン, ニトロセルロース

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

メチルシクロヘキサン, イソプロピルアルコール, 酢酸エチル, 酢酸ブチル, メチルイソブチルケトン,

ニトロセルロース

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

振とうすると内容物が噴出する恐れがあるので、注意して取り扱うこと。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋及び保護面を着用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。

工具は火花防止型のものを使用する。

静電気対策のため、装置等は設置し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
40℃以上の所では取り扱わない。
火気のある所では取り扱わないこと。
40℃以上に暖めないこと。
30秒以上の連続使用をしないこと。
噴射を連続すると、凍傷や炎症を起こす恐れがある。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
火気。熱源から遠ざけて保管する。
40℃以上の所で保管しないこと。
水周りや湿度の高い所に保管すると容器が腐食して破裂のおそれがあるので保管場所に注意すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度及び濃度基準値

(イソプロピルアルコール)
作業環境評価基準 200ppm
(酢酸エチル)
作業環境評価基準 200ppm
(酢酸ブチル)
作業環境評価基準 150ppm
(メチルエチルケトン)
作業環境評価基準 200ppm
(メチルイソブチルケトン)
作業環境評価基準 20ppm

許容濃度

(メチルシクロヘキサン)
日本産衛学会(1986) 400ppm; 1600mg/m³
(イソプロピルアルコール)
日本産衛学会(1987) (最大許容濃度) 400ppm; 980mg/m³
(酢酸エチル)
日本産衛学会(1995) 200ppm; 720mg/m³
(酢酸ブチル)
日本産衛学会(1994) 100ppm; 475mg/m³
(メチルエチルケトン)
日本産衛学会(1964) 200ppm; 590mg/m³
(メチルイソブチルケトン)
日本産衛学会(1984) 50ppm; 200mg/m³
(メチルシクロヘキサン)
ACGIH(1987) TWA: 400ppm (上気道刺激; 中枢神経系障害; 肝臓及び腎臓損傷)
(イソプロピルアルコール)
ACGIH(2001) TWA: 200ppm;
STEL: 400ppm (眼及び上気道刺激; 中枢神経系障害)
(酢酸エチル)
ACGIH(1979) TWA: 400ppm (上気道及び眼刺激)
(酢酸ブチル)
ACGIH(2016) TWA: 50ppm;

STEL: 150ppm (眼及び上気道刺激)
 (メチルエチルケトン)
 ACGIH(1992) TWA: (200ppm);
 STEL: (300ppm) (上気道刺激; (中枢神経系及び末梢神経系障害))
 (メチルイソブチルケトン)
 ACGIH(2010) TWA: 20ppm;
 STEL: 75ppm (上気道刺激; めまい; 頭痛)

ばく露防止

設備対策

取扱い設備は防爆型を使用する。
 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
 液体の輸送、汲み取り、拡販等の装置についてはアースをとるように設備すること。
 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 気体

臭い : 溶剤臭

沸点又は初留点 : <= 35°C

引火点 : 4°C

自然発火点 : 275°C

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(イソプロピルアルコール)

rat LD50=5480mg/kg (EHC 103, 1990)

(酢酸エチル)

rat LD50=5600mg/kg (ACGIH 7th, 2001)

(メチルエチルケトン)

rat LD50=2737mg/kg (環境省リスク評価第6巻, 2008)

(メチルイソブチルケトン)

rat LD50=2080mg/kg (ACGIH, 2010)

(3メチル3メトキシブタノール)

rat LD50>2000, =4400mg/kg (SIDS, Access on May 2012)

急性毒性(経皮)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(イソプロピルアルコール)

rabbit LD50=12870mg/kg (EHC 103, 1990)

(酢酸エチル)

rabbit LD50 > 18000mg/kg (SIDS, 2008)

急性毒性(吸入)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メチルシクロヘキサン)

vapor: mouse LC50=7500 - 10000ppm/2hr (換算値; 5303 - 7071.1ppm/4hr) (ACGIH 7th, 2001)

(酢酸エチル)

vapor: rat LC50=14640ppm/4hr (DFGOT vol.12, 1999)

(メチルエチルケトン)

vapor: rat LC50=11700ppm/4hr (PATTY 6th, 2012)

(メチルイソブチルケトン)

vapor: rat LC50=8.2mg/L/4hr (NTP TR 538, 2007)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メチルエチルケトン)

ラビット 中等度の刺激性 (SIDS, 2011 et al)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メチルシクロヘキサン)

ラビット 結膜発赤, 48時間後には回復 (SIAP, 2014)

(イソプロピルアルコール)

ラビット (PATTY 6th, 2012 et al)

(酢酸エチル)

ラビット 一過性の刺激性, 7日までに全ての反応は消失 (ECETOC TR48, 1998)

(酢酸ブチル)

ラビット 48時間後に回復 (SIDS, 2009)

(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート)

ラビット 軽度から中等度の刺激性 (SIDS, 2003)

(メチルエチルケトン)

ラビット 重度の刺激 (SIDS, 2011 et al)

(メチルイソブチルケトン)

ラビット 7日以内に回復した (ECETOC TR48, 1992)

(3メチル3メトキシブタノール)

ラビット 中等度の刺激性 (SIDS, Access on May 2012)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし

皮膚感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[製品]

区分 1B, 発がんのおそれ

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メチルイソブチルケトン)

cat.1B; (IARC 101, 2012)

[IARC]

(イソプロピルアルコール)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

(メチルイソブチルケトン)

Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

[ACGIH]

(イソプロピルアルコール)

A4(2001) : ヒト発がん性因子として分類できない

(メチルイソブチルケトン)

A3(2010) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

[EU]

(メチルイソブチルケトン)

Category 2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質

生殖毒性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(イソプロピルアルコール)

cat. 2; PATTY 6th, 2012

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ

区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(メチルシクロヘキサン)

気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)

(イソプロピルアルコール)

気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)

(酢酸エチル)

気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001; 環境省リスク評価第10巻, 2012)

(酢酸ブチル)

気道刺激性 (CICAD 64 2005)

(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート)

気道刺激性 (SIDS, 2008)

(メチルエチルケトン)

気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2008)

(メチルイソブチルケトン)

気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(メチルシクロヘキサン)

麻酔作用 (SIAP, 2014; PATTY 6th, 2012)

(酢酸エチル)

麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001; SIDS, 2008)

(酢酸ブチル)

麻酔作用 (CICAD 64 2005)

(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート)

麻酔作用 (SIDS, 2008)

(メチルエチルケトン)

麻酔作用 (環境省リスク評価第6巻, 2008)

(メチルイソブチルケトン)

麻酔作用 (PATTY 6th, 2012)

(ジメチルエーテル)

麻酔作用 (DFGOT vol.1, 1991)

(ニトロセルロース)

麻酔作用 (HSDB, 2003)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[製品データ]

データなし

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(メチルイソブチルケトン)

中枢神経系 (ACGIH 7th, 2010)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(メチルシクロヘキサン)

腎臓 (NITE安全性試験, Access on Sep. 2019; SIAP, 2014)

誤えん有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[製品データ]

データなし

[成分データ]

データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 3, 水生生物に有害

区分 3, 長期継続的影響によって水生生物に有害

[製品データ]

データなし

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(メチルシクロヘキサン)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.33mg/L/48hr (環境省生態影響試験, 2006)

(イソプロピルアルコール)

魚類 (メダカ) LC50 > 100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1997)

(酢酸エチル)

甲殻類 (ミジンコ) EC50=262 mg/L/48hr; 魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=230mg/L/96hr (環

境省リスク評価第10巻, 2012)

(酢酸ブチル)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=18mg/L/96hr (CICAD 64, 2005)

(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) ErC50>1000mg/L/72hr; 甲殻類 (オオミジンコ) EC50=3

70mg/L/48hr; 魚類 (メダカ) LC50>100mg/L/96hr (環境省生態影響試験, 1997)

(メチルエチルケトン)

魚類 (ニジマス) LC50 > 100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1996)

(メチルイソブチルケトン)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=505mg/L/96hr (ECETOC TR91, 2003)

(ジメチルエーテル)

魚類 (グッピー) LC50 > 4000mg/L/96hr (IUCLID, 2000)

(ニトロセルロース)

藻類 (セレナストラム) EC50=579mg/L/96hr (Aquire, 2003)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(メチルシクロヘキサン)

藻類 (セレナストラム) NOErC=0.067mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2006)

(イソプロピルアルコール)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC >100mg/L/21days (環境庁生態影響試験, 1997)

(酢酸エチル)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=2.4mg/L/21days (ECETOC TR91, 2003)

(メチルエチルケトン)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC=93mg/L/72hr (環境庁生態影響試験, 1996)

(メチルイソブチルケトン)

魚類 (ファットヘッドミノー) NOEC=57mg/L/31days (環境省リスク評価第6巻, 2008)

水溶解度

(メチルシクロヘキサン)

溶けない (ICSC, 1997)

(イソプロピルアルコール)

In water, infinitely soluble (25°C) (HSDB, 2013)

(酢酸エチル)

8 g/100 ml (PHYSPROP_DB, 2009)

(酢酸ブチル)

0.7 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート)

19.8 g/100 ml (ICSC, 1997)

(メチルエチルケトン)

29 g/100 ml (20°C) (ICSC, 1998)

(メチルイソブチルケトン)

1.91g/100 ml (20°C) (ICSC, 1997)

(ジメチルエーテル)

4.6 g/100 ml (PHYSPROP_DB, 2008)

(ニトロセルロース)

100 g/100 ml (PHYSPROP_DB, 2009)

残留性・分解性

[成分データ]

(メチルシクロヘキサン)

急速分解性なし (BODによる分解度:0% (既存点検, 1986))

(イソプロピルアルコール)

急速分解性あり (BODによる分解度:86% (既存点検, 1993))

(酢酸エチル)

急速分解性あり (BOD分解度:66, 112, 105%/28day (通産省公報, 1993))

(酢酸ブチル)

急速分解性あり (BODによる分解度:98%, SIDS, 2009)

(メチルエチルケトン)

急速分解性あり (20日後のBOD分解度=89% (SIDS, 2011))

(メチルイソブチルケトン)

急速分解性あり (BOD分解度=84%/14 days; TOC分解度=97.1%/14 days; GC分解度=100%/14 days (通産省公報, 1975))

(3メチル3メトキシブタノール)

BODによる分解度:110% (既存点検, 2003)

生体蓄積性

[成分データ]

(メチルシクロヘキサン)

BCF=321 (Check & Review, Japan)

(イソプロピルアルコール)

log Pow=0.05 (ICSC, 1999)

(酢酸エチル)

log Pow=0.73 (ICSC, 2014)

(酢酸ブチル)

log Pow=1.78 (PHYSPROP DB, 2009)

(メチルエチルケトン)

log Pow=0.29 (ICSC, 1998)

(メチルイソブチルケトン)

log Pow=1.38 (ICSC, 1997)

(3メチル3メトキシブタノール)

log Kow=0.18 (SIDS, 2005)

(ジメチルエーテル)

log Pow=0.1 (ICSC, 2002)

土壌中の移動性

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃塗料などを焼却処理する場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。または焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合には、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。

特別管理産業廃棄物(廃油)に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

廃棄は、ガスを完全に抜いたのちに行うこと。(噴射音がしなくなるまで)また、ガスを抜く際には、火気およびミストの吸入などについて注意する。

汚染容器及び包装

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号: 1950

正式輸送名:

エアゾール、可燃性

分類または区分: 2.1

容器等級: 該当しない

指針番号: 126

特別規定番号: 63; 190; 277; 327; 344; 381

環境有害性

海洋汚染物質(該当/非該当): 非該当

特別の安全対策

取り扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器の漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

運搬に祭しては、容器を40°C以下に保ち、転倒、落下、損傷がないように注意すること。

消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められた輸送方法に従うこと。

船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空法に定めるところに従うこと。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

ガス類 引火性ガス 分類2 区分2.1

航空法

高压ガス 引火性ガス 分類2 区分2.1

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等

有機則 第2種有機溶剤等

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

メチルシクロヘキサン; 酢酸エチル; 酢酸ブチル; メチルイソブチルケトン; ニトロセルロース

名称通知危険/有害物

メチルシクロヘキサン; イソプロピルアルコール; 酢酸エチル; 酢酸ブチル; メチルイソブチルケトン; ニトロセルロース

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (0°C ≤ 引火点 < 30°C)

健康障害防止指針公表物質 (法第28条第3項)

メチルイソブチルケトン

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

メチルイソブチルケトン(2.8%)

消防法

危険物

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II (指定数量 200L)

化審法

優先評価化学物質

イソプロピルアルコール; メチルイソブチルケトン

悪臭防止法

酢酸エチル; メチルイソブチルケトン

水質汚濁防止法

指定物質

酢酸エチル

法令番号 13

適用法規情報

この物質に関する貴国又は地方の規制に関する調査は貴社の責任で処理願います。

化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

Supplier's data/information

責任の限定について

この情報はこの特定の材料に関するものであり、この材料が他の材料と組み合わせられたり、処理されたときは無効です。この情報を自分自身の独特な取扱いに適合させ完全で満足できるものとする責任はユーザーにあります。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和4年度(2022年度)）です。